

インストール編 — 管理者用 —

本製品は、ネットワーク環境のデータを手軽にバックアップできるユーティリティソフトです。簡単な操作でファイルやフォルダを登録し、自動またはマニュアルでハードディスクやMO、DVDなどに大切なデータをバックアップできます。万一のデータの破損や誤消去に備えることができます。

- ※ネットワーク管理者は10台のパソコンに自動バックアップを設定することができます。
- ※バックアップ、リストアは同じパソコン環境・OS環境でのみ可能です。
- ※MO、DVDなどにバックアップする場合は、あらかじめご利用になるOSでアクセスできるフォーマット形式で初期化しておいてください。
- ※ドライブの起動管理領域(MBR)のバックアップには対応していません。
- また、本ソフトウェアを用いてのシステムバックアップ・リストアは行えません。
- ※他の弊社製EasySaver(EasySaver2 以前のバージョンやEasySaver LE等)との互換性はありませぬ。そのため旧ソフトのバックアップジョブは、添付ソフト「EasySaver Restor」によるリストア・閲覧のみ可能です。

箱のなかには

- CD-ROM(1枚)
 - 取扱説明書 インストール編(1枚:本紙)
 - 取扱説明書 操作編(1冊)
- Ver.シール(5枚)
 - [シリアル No. シール: 1シート]
 - [プロダクトキーシール: 4シート(10台分)]

ご注意

- EasySaver4 Pro CD-ROMを紛失した場合の対応はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- EasySaver4 Pro CD-ROMおよび本書はネットワーク管理者が大切に保管してください。
- プロダクトキーシールはインストールの際に必要です。再発行いたしかねますので、紛失しないよう大切に保管してください。

動作環境

本製品は以下の環境で使用できます。

対応機種	DOS/Vマシン
対応OS	Windows 7 / Windows Vista® (32bitのみ対応) / Windows XP(32bitのみ対応) / Windows 2000 Professional
CPU	Pentium III 450MHz 以上推奨 (各 OS の推奨環境以上を推奨)
メモリー	128MB 以上推奨 (各 OS の推奨環境以上を推奨)
空き容量	インストール時に 30MB 以上 (別途バックアップ用の空き容量が必要です。)
対応メディア バックアップ元	ハードディスク、MO、DVD-RAM 等ファイルシステムで読み取り可能なメディア全般、マイコンピュータ (またはコンピュータ) 上に割り当てられたネットワークドライブ
対応メディア バックアップ先	ハードディスク、MO、パケットライトフォーマットされた CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAM 等ファイルシステムで読み書き可能なメディア全般、マイコンピュータ (またはコンピュータ) 上に割り当てられたネットワークドライブ ※ネットワークドライブの共有フォルダは、バックアップを実行するユーザー毎に分けて設定してください。 ※FDD、USB メモリー、フラッシュメモリーカード除く
インストール 可能台数	10台 ※ライセンス契約に同意の場合のみご使用いただけます。

共通設定ファイル用フォルダを作成する

本製品をインストールする前に、共通設定ファイルが保存される共有フォルダをネットワーク上に作成します。共通設定ファイルは、各クライアントPCで共通の設定を保存するファイルです。

マイコンピュータ(またはコンピュータ)等を開き、ネットワークに接続されたパソコンの共有フォルダに、適当なフォルダを作成します。
(通常は、本製品のバックアップ先となる共有フォルダを提供するパソコン、またはNAS等)



参考

フォルダ名は任意です。このフォルダは、各クライアントPCから読み取りアクセスが許可されている必要があります。ただし、セキュリティのため、ネットワーク管理者以外は書き込みアクセスできないよう設定されることをお勧めします。

インストールする

EasySaver4 Proのインストールは、各クライアントPC毎におこないます。

ご注意

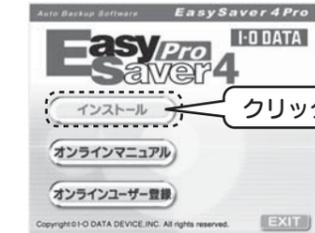
- Windows 7/Vista@/XP/2000では、コンピュータの管理者のアカウント(Administrator権限)でログオンしてください。
- 他の弊社製EasySaverやEasySaver LE等をすでにインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから、本ソフトウェアをインストールしてください。
- 他の弊社製EasySaver(EasySaver2 以前のバージョンやEasySaver LE等)との互換性はありませぬ。そのため旧ソフトのバックアップジョブは、「EasySaver Restor」によるリストア・閲覧のみ可能です。
(別冊EasySaver4 Pro取扱説明書【操作編】「EasySaver Restorについて」参照)

1 「EasySaver4 Pro」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

- 自動的にCDメニューが表示されない場合は・・・
「EasySaver4 Pro」CD-ROMの中にある[AUTORUN]アイコンをダブルクリックしてください。
- Windows 7/Vistaでユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は・・・
[続行]をクリックしてください。
- 「初期設定ディスク」を作成してある場合は・・・
「初期設定ディスク」を挿入しておいてください。
(「初期設定ディスクの作成」については手順7【参考】参照)

2 「インストール」ボタンをクリックします。



3 「次へ」ボタン→「はい」ボタンをクリックします。

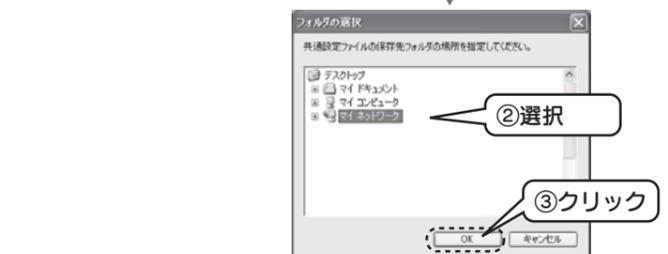
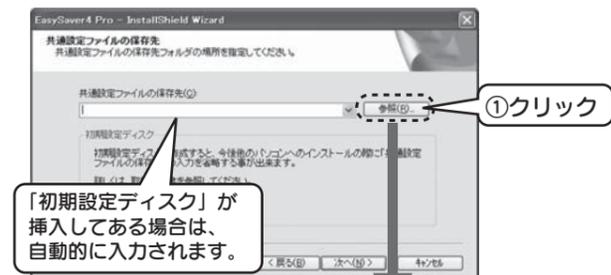
4 添付のプロダクトキーシールに印字されているプロダクトキーを入力して、「次へ」ボタンをクリックします。



5 「次へ」ボタンをクリックします。



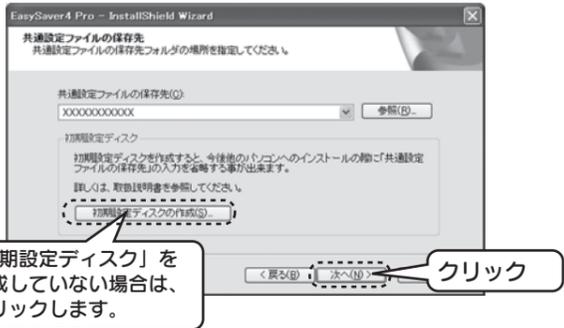
6 共有設定のファイルの保存先を指定します。



参考

「共通設定ファイルの保存先フォルダ」には、「共通設定ファイル用フォルダを作成する」で作成したフォルダを選択します。「共通設定ファイルの保存先」は「マイ ネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」から選択してください。直接入力する場合には、UNC名で入力してください。
例) \\¥HDLM¥disk¥ESavCommon

- 7 「初期設定ディスク」を作成してある場合
 [次へ]ボタンをクリックし、インストールを開始します。
 「初期設定ディスク」を作成していない場合
 「初期設定ディスクの作成」ボタンをクリックし、「初期設定ディスク」を作成してから、「次へ」ボタンをクリックし、インストールを開始します。
 「初期設定ディスク」の作成手順については、下記[参考]をご覧ください。



参考

初期設定ディスクの作成

各クライアントPCでEasySaver4 Proをインストールする際に「初期設定ディスク」を挿入しておく、「共通設定ファイルの保存先」ボックスに保存先フォルダの内容が自動的に入力されるようになり、大変便利です。「初期設定ディスク」はネットワーク管理者の方が最初に作成されることをお勧めします。「初期設定ディスク」の作成方法は以下のとおりです。

- 共有設定ファイルの保存先を入力(指定)し、[初期設定ディスク作成]ボタンをクリックします。
 - フォーマット済みの空のメディアを挿入してから、ドライブを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
 ※[保存先ドライブ]はフロッピーディスクやリムーバブルディスク(USBメモリー、MO、DVD-RAMなど)になります。
 (他のクライアントPCでも使用できるドライブを使用してください。)
 - [OK]ボタンをクリックします。
- 以上で、初期設定ディスクの作成は完了です。

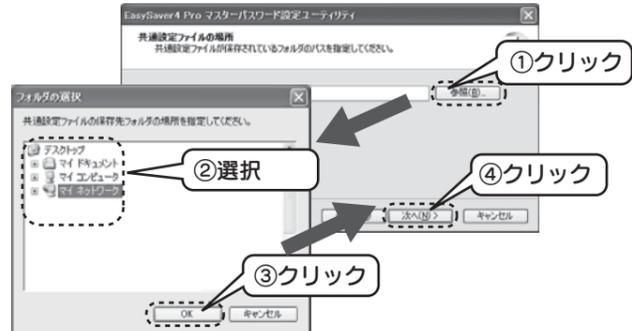
マスターパスワードの設定をする

「サービスモード」に入るために必要なマスターパスワードを設定します。「サービスモード」では各クライアントPCの共通の動作オプションを設定することができます。

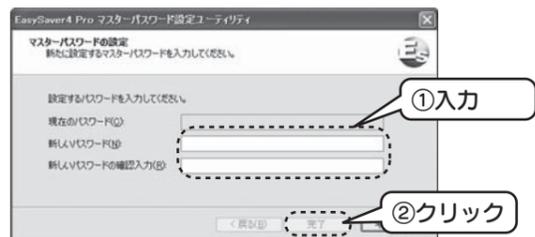
ご注意

- ・マスターパスワードを設定しないと、「サービスモード」に入ることはできません。
- ・「サービスモード」はネットワーク管理者専用です。各クライアントPCの共通の動作オプションの設定はネットワーク管理者のみがおこないます。

- 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 「マスターパスワード設定ユーティリティ」を起動します。
 ※自動でCDメニューが起動した場合は[EXIT]ボタンをクリックし、閉じてください。
 ① [コンピューター(マイコンピュータ)]CD-ROMアイコンを右クリックします。
 ② 表示されたメニューの[開く]をクリックします。
 ③ 「ADMIN」フォルダをダブルクリックします。
 ④ 「ESavAdminUtility.exe」ファイルをダブルクリックします。
- [次へ]ボタンをクリックします。
- 「共通設定ファイルの場所」には、「共通設定ファイル用フォルダを作成する」で作成したフォルダを設定します。
 [参照]ボタンをクリックし、「マイネットワーク」または「ネットワークドライブ」からフォルダを選択し、[OK]→[次へ]ボタンの順にクリックしてください。



- 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」欄に同じパスワードを入力後、「完了」をクリックします。
 ※パスワードは必ずメモしてください。
 ※大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようにご注意ください。



- [OK]ボタンをクリックします。

以上でマスターパスワードの設定は完了です。

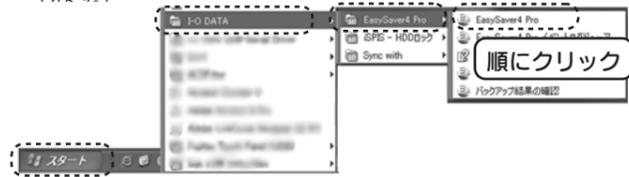
共通動作オプションを設定する

ここでは各クライアントPCで共通に適用される動作オプションを設定します。設定は、本製品をインストールしたクライアントPCのいずれか一台でおこないます。

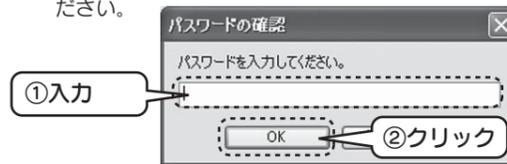
ご注意

- 各クライアントPCで共通に適用される動作オプションは「サービスモード」でのみ設定できます。また、「サービスモード」に入るには「マスターパスワード」が必要になります。(「マスターパスワードの設定をする」参照)

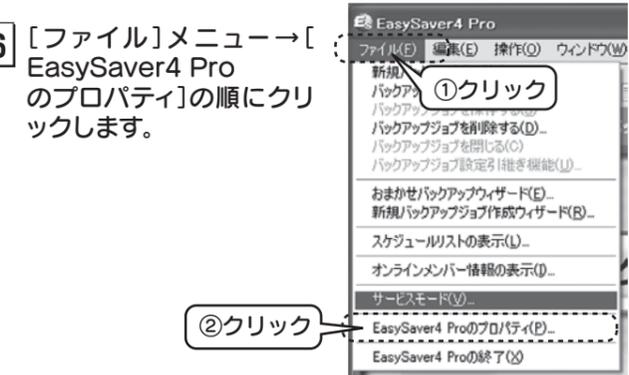
- 設定をおこなうクライアントPC以外のパソコンのEasySaver4 Proを全て終了させてください。
- 設定をおこなうクライアントPCでEasySaver4 Proを起動します。
 ([スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver4 Pro]→[EasySaver4 Pro]を順にクリックし、起動します。)
- [ファイル]メニュー→[サービスモード]の順にクリックします。



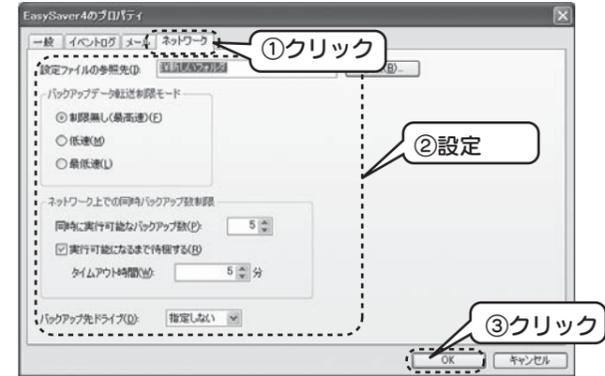
- [マスターパスワードの設定をする]で設定したマスターパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
 ※大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようにご注意ください。



- [OK]ボタンをクリックします。
- [ファイル]メニュー→[EasySaver4 Proのプロパティ]の順にクリックします。



- [ネットワーク]タブをクリックします。共通動作オプションを設定し、[OK]ボタンをクリックします。



設定ファイルの参照先	共通設定ファイルの場所を指定します。 ※設定ファイルの参照先を変更するとサービスモードが利用できなくなります。その場合は、マスターパスワードの設定ユーティリティにてマスターパスワードの再設定が必要となります。よって通常、変更する必要はありません。	
バックアップデータ転送制限モード	ネットワークドライブへのバックアップ時にデータの転送速度を制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。 ※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、常に最高速で実行されます。	
	制限無し(最高速)	転送速度は制限されません。
	低速	最高速の約66%程度の速度。 ※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。
	最低速	最高速の約33%程度の速度。 ※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。
ネットワーク上での同時バックアップ数制限	ネットワーク上で同時に実行可能なバックアップジョブの数を任意の数に制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。 ※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、バックアップ数に含まれません。	
実行可能になるまで待機する	同時に実行可能なバックアップ数 [1 ~ 30] の範囲で設定します。	
タイムアウト時間	本機能により、バックアップの開始が抑制された場合で、一定時間後、再度バックアップを実行する場合にチェックします。チェック後、下記の「タイムアウト時間」を設定します。 本機能により、バックアップの開始が抑制されたから、再度バックアップを実行するまでの時間を設定します。上記「実行可能になるまで待機する」にチェックをつけた場合のみ有効です。 [1 ~ 480] (分) の範囲で設定します。 ※上記「実行可能になるまで待機する」のチェックが外れている場合は、「待機しない」モードとなり、再実行しません。	
バックアップ先ドライブ	バックアップ先ドライブを任意のドライブ文字(番号)に固定する機能です。各クライアントPCで指定可能なバックアップ先ドライブ文字(番号)を統一する事で、管理をし易くします。 [C ~ Z]、または「指定しない」の範囲で設定します。	

- [OK]ボタンをクリックし、本ソフトを終了します。



以上で、サービスモードは終了です。使い方は「操作編」をお読みください。